

事務事業評価シート

(H.30)No.	5020	(H.29)No.	5020
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	山下 光彦	

会計区分	事業コード	364001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光施設管理費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光施設管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	3	観光交流
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光施設が清潔、安全、快適な状態が保たれるようにきめ細やかな維持管理を行うことで、魅力ある観光地づくりを進め、観光地への入込客数増加を目指す。
事業内容
市内にある観光施設(キャンプ場、トイレ、ハイキングコース)の維持管理を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、土地賃借料、備品購入、老朽化施設撤去工事費		観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		12,648千円		8,911千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(キャンプ場使用料)		2,620		2,000			
一般財源	0	10,028	0	6,911	7,000	7,000	7,000
人工数							
職員		0.50人		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等		0.20人		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	0千円	4,060千円	0千円	2,580千円	2,580千円	2,580千円	2,580千円
①+②総事業費	0千円	16,708千円	0千円	11,491千円	9,580千円	9,580千円	9,580千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
施設全般に老朽化がみられることから、修繕あるいは施設廃止等、状況に応じた対応を行った。赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪を観光拠点として位置付け、自然環境を保全するとともに、これに調和する散策路等の環境整備を進め、魅力ある観光地づくりに向けて取り組んだ。管理業務委託については、地域の活動団体と連携・協働して進めている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画 名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想
平成28年度末に指定管理終了となった赤目四十八滝キャンプ場について、平成29年度は、市で直営し、民営化に向け協議を進めた。また、老朽化した施設については、必要性を十分に見極め、廃止も視野に入れ検討を進めていく。	